

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり				
分野別方針	土地利用・都市基盤		実施計画事業	松くい虫被害対策自主事業(No.46)				
予算等事業名	松くい虫被害対策自主事業							
目的	松の枯死の原因となる松くい虫の被害を防止し、松の保全を図る。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・松害木の伐倒 ・松枯れ防止剤の注入 							
根拠法令・条例等	神奈川県松くい虫被害対策事業推進計画 二宮町松くい虫被害対策自主事業地区実施計画							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	樹幹注入等の単価は、県が示す標準単価を採用し実施するため削減は困難である				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	既に事業の見直しを行っているため効率化は困難である				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)					A
	【説明】 引き続き松くい虫被害の防止に努める。					

総合評価

実績	松枯れ防止剤の樹幹注入を実施				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	松枯れを防止剤の注入本数				
中期(29年度)目標値	330本			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	二宮町松くい虫被害対策自主事業計画での当該年度計画値	
	330本	330本			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		951	626	594	540		
財源内訳	一般財源	484	201	38	135		
	国庫支出金						
	県支出金	467	425	556	405		
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 神奈川県及び町の計画に基づき実施しているため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 松の適切な保全、松くい虫の被害防除のため町が実施する必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 事業の継続性により被害防除に繋がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 国、県の交付金を活用し事業推進している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】	
	引き続き計画に沿って松の保全等を行う。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
総合評価	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3-1 災害や犯罪に備える地域づくり				
分野別方針	環境、防災		実施計画事業	防災・危機管理体制強化事業(No.59)				
予算等事業名	農業施設災害復旧事業							
目的	町の防災力の向上及び危機管理体制の強化を図り、災害時における迅速な応急活動に努める。							
内容	・災害復旧(随時対応)							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか									
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 未実施		
②、③に対する理由		被災していないため							

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか									
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難					
理由		随時対応することから、経費の削減は困難である							

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか									
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難					
理由		随時対応することから、効率化は困難である							

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							A
	【説明】 被災時に随時対応する。							

総合評価

実績	—				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	—				
中期(29年度)目標値	—				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
	—	—	—	突発的な災害対応のため	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1	0	1	0		
財源内訳	一般財源	1	0	1	0		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 突発的な災害対応のため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 突発的な災害対応のため。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 突発的な災害対応のため。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 突発的な災害対応のため。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 引き続き災害に備える。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3-1 災害や犯罪に備える地域づくり				
分野別方針	環境、防災		実施計画事業	防災・危機管理体制強化事業(No.59)				
予算等事業名	水産施設災害復旧事業							
目的	町の防災力の向上及び危機管理体制の強化を図り、災害時における迅速な応急活動に努める。							
内容	・災害復旧(随時対応)							
根拠法令・条例等	-							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	被災していないため				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	随時対応することから、経費の削減は困難である				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	随時対応することから、効率化は困難である				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 被災時に随時対応する。				

総合評価

実績	—				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	—				
中期(29年度)目標値	—				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	突発的な災害対応のため	
	-	-			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1	0	1	0		
財源内訳	一般財源	1	0	1	0		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 突発的な災害対応のため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 突発的な災害対応のため。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 突発的な災害対応のため。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 突発的な災害対応のため。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 引き続き災害に備える。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課	
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-4 身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出	
分野別方針	産業・経済	実施計画事業	農業振興事業(No.60)	
予算等事業名	農業振興事業			
目的	農用地の有効利用と中核農家の育成、各種生産団体及び協議会等の支援育成、又当町の農林産物を町民に周知し農林業の振興を図る。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産まつり開催 ・各農業団体等の支援育成 ・担い手の育成 ・農業振興地域整備計画見直し 			
根拠法令・条例等	<ul style="list-style-type: none"> ・湘南地域農業再生協議会規約 ・二宮町農林水産まつり実行委員会規約 ・神奈川県環境保全型農業直接対策支援事業要綱 		<ul style="list-style-type: none"> ・農業金融制度資金利子補給要綱 ・二宮町園芸協会規約 	
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		遊休荒廃地の解消のため必要な経費である			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		継続的に実施する必要がある			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 各種農業団体と更に連携して農業振興に取り組む。	

総合評価

実績	関係団体、協議会等に対して助成するとともに、農林水産まつりの開催により農業振興を図った。			
中間評価との相違点	—			
事業指標(数値指標)	認定農業者数			
中期(29年度)目標値	20人			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】 平塚・大磯・二宮の1市2町で構成される「担い手協議会」にて各市町の動向を調整しながら認定農業者数の目標を設定しており、二宮町は毎年度1名の増を目標としている
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	19人	18人		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		5,287	5,133	6,753	6,482		
財源内訳	一般財源	1,202	1,028	3,007	2,919		
	国庫支出金						
	県支出金	3,855	3,855	3,515	3,327		
	その他	230	250	231	236		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 農業振興のため必要な支援を行う。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 農業振興のため必要な支援等を行う必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 認定農業者が減少したものの、新規就農者が増えるなど一定の成果は出ている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 補助金の活用や関係機関等と連携し事業を推進している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 引き続き関係機関等と連携し事業推進を図る。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-4 身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出		
分野別方針	産業・経済	実施計画事業	農業振興事業(No.60)		
予算等事業名	農業委員会運営経費				
目的	農用地の有効利用と中核農家の育成、各種生産団体及び協議会等の支援育成、又当町の農林産物を町民に周知し農林業の振興を図る。				
内容	・農業委員会総会の運営				
根拠法令・条例等	農業委員会等に関する法律				
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	最低限の経費での運用のため削減は困難である				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	法改正により新たに法定化された事務もあり効率化は困難である				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 農業委員会制度が新たな制度に移行されているため、他事例等を調査、研究し更に円滑な運用ができるように事業を推進する。	

総合評価

実績	農業委員の研修や農業委員会総会において、法令に基づく審議等を行った。				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	総会開催回数				
中期(29年度)目標値	13回				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	年間予定開催回数を目標値とした	
	12回	13回			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		3,225	3,124	3,010	2,878		
財源内訳	一般財源	2,536	2,197	2,381	1,911		
	国庫支出金						
	県支出金	607	821	546	812		
	その他	82	106	83	155		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 法定事務のため妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 法定事務のため町が行う必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 農業委員会総会において適切な審議等を行っている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 交付金等を活用し事業を推進している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 引き続き適切に農業委員会を運営し事業の推進を図る。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-4 身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出				
分野別方針	産業・経済		実施計画事業	農業振興事業(No.60)				
予算等事業名	農業者年金事業							
目的	農用地の有効利用と中核農家の育成、各種生産団体及び協議会等の支援育成、又当町の農林産物を町民に周知し農林業の振興を図る。							
内容	・農業者年金への加入促進							
根拠法令・条例等	農業者年金業務委託契約							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	必要最小限の経費であるため削減は困難である		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	既に効率化しているため困難である		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	【説明】 引き続き農業者年金の加入促進に努める。		

総合評価

実績	農業者年金の加入促進や加入手続き等を行った。		
中間評価との相違点	—		
事業指標(数値指標)	新規加入者数		
中期(29年度)目標値	1人		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	0人	2人	
			加入推進活動計画の目標値

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		38	21	37	34		
財源内訳	一般財源	0	0	0	0		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	38	21	37	34		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 委託金で運用しているため、費用負担は発生していない。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町内農家の関係でもあり、委託を受けているため町が行う必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 新規に加入した方もおり、成果が上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 委託金で運用しているため、費用負担は発生していない。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 引き続き制度周知を行い、加入促進を図る。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-4 身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出		
分野別方針	産業・経済	実施計画事業	農業振興事業(No.60)		
予算等事業名	畜産推進事業				
目的	農用地の有効利用と中核農家の育成、各種生産団体及び協議会等の支援育成、又当町の農林産物を町民に周知し農林業の振興を図る。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産会の支援 ・家畜防疫対策の支援 ・環境整備対策の支援 				
根拠法令・条例等	二宮町畜産会規約				
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	最低限の経費のため削減は困難である				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	二宮町畜産会と連携し事業推進している				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 二宮町畜産会と連携し畜産振興を推進する。	

総合評価

実績	害虫駆除薬品等の配布や畜産振興の支援を行った。				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	経営体数				
中期(29年度)目標値	4経営体				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成28年度 4経営体	平成29年度 4経営体	平成30年度	高齢化や後継者不足の現状であるため現状維持を目標とした	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		234	227	285	282		
財源内訳	一般財源	234	227	285	282		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 畜産振興のため防疫や環境整備等の支援が必要である。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 畜産振興のため必要である。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 畜舎等、適切に維持管理されている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 必要最小限の経費により事業推進している。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 引き続き支援等を行い事業推進を図る。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-4 身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出				
分野別方針	産業・経済		実施計画事業	農業振興事業(No.60)				
予算等事業名	有害鳥獣対策事業							
目的	農用地の有効利用と中核農家の育成、各種生産団体及び協議会等の支援育成、又当町の農林産物を町民に周知し農林業の振興を図る。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> 有害鳥獣対策団体の支援育成 自主防除及び捕獲の啓発、支援 							
根拠法令・条例等	二宮町有害鳥獣対策協議会規約、二宮町農作物鳥獣被害対策補助金要綱							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		国補助金の活用を検討し経費削減を検討する			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		二宮町有害鳥獣対策協議会及び猟友会等と更に連携し効率化を検討する			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 二宮町有害鳥獣対策協議会や猟友会、県等と連携し、事業の効率化を図ることで有害鳥獣対策を強化する。				

総合評価

実績	自主防除や捕獲啓発、関係団体への支援を行った。				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	補助金申請件数				
中期(29年度)目標値	10件			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	過去3年間の平均値	
	12件	11件			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		545	361	645	563		
財源内訳	一般財源	339	211				
	国庫支出金						
	県支出金	166	110	165	128		
	その他	40	40				

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 有害鳥獣による被害拡大により農地の荒廃化につながるため、支援等は必要である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 農地の荒廃化防止の観点からも町が主体となって実施する必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 継続的な支援により、一定の成果が出ている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 町有害鳥獣対策協議会と連携し、交付金の活用等効率的な運用を行っている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 交付金の活用や関係機関等と連携し、引き続き事業を推進する。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-4 身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出				
分野別方針	産業・経済		実施計画事業	農業振興事業(No.60)				
予算等事業名	土地改良事業							
目的	農用地の有効利用と中核農家の育成、各種生産団体及び協議会等の支援育成、又当町の農林産物を町民に周知し農林業の振興を図る。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> 農道整備・改良(優先度の整理、施工) 農道の維持・修繕 							
根拠法令・条例等	土地改良法 神奈川県土地改良事業等補助金交付要綱							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input checked="" type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	財源確保が困難な状況である				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	既存農道の補修の要望があり、財源の確保が必要なため削減は困難である				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	農道修繕等については、優先順位を決め事業に取り組んでいる				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				B
	【説明】 大規模な整備・改良を実施するのは困難な状況だが、適切な維持管理を行いつつ、必要な整備を検討する。				

総合評価

実績	農道の護岸整備及び補修等を行った。				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	—				
中期(29年度)目標値	—				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】 主に農道の補修等を実施しているため指標等の数値ができない	
	—	—			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		7,043	6,719	6,978	6,147		
財源内訳	一般財源	4,768	4,781	5,085	4,284		
	国庫支出金						
	県支出金	2,275	1,938	1,893	1,863		
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 農道は町が管理者であるため妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 農道は町が管理者であるため妥当である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 安全性や利用状況等を考慮し順次、整備・補修等を実施している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 交付金等の財源確保が必要である。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 計画的に適切な財源を確保し事業を推進する。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-4 身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出				
分野別方針	産業・経済		実施計画事業	遊休・荒廃農地対策事業(No.61)				
予算等事業名	遊休・荒廃農地対策事業							
目的	農地の荒廃地化の防止と町民の余暇利用を推進する。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の利用状況調査 ・遊休荒廃農地解消に係る経費の補助 							
根拠法令・条例等	農地法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		必要最小限の経費であるため削減は困難である			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		農業委員と連携する等、新規就農者等へ更に補助制度等を周知する			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			B
	【説明】 利用意向調査結果の活用や補助制度を更に周知することで事業を推進する。			

総合評価

実績	農地利用状況調査の実施や遊休荒廃農地解消等の支援を行った。				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	遊休・荒廃農地面積の減少				
中期(29年度)目標値	0.4ha			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	農業委員会の活動計画で設定した遊休農地の解消面積目標値	
	0.37ha	0.07ha			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		255	0	204	101		
財源内訳	一般財源	255	0	136	100		
	国庫支出金						
	県支出金			68	1		
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 遊休荒廃農地の解消のため必要な事業である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 遊休荒廃農地の解消のため必要である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 町遊休荒廃農地対策事業補助金を活用した実績もあったことから一定の成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 遊休荒廃農地対策事業補助金制度の周知や農業委員と連携し更に効率的運用の必要がある。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 遊休荒廃農地の発生防止、解消等のため、更に事業推進する必要がある。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 遊休荒廃農地の発生防止、解消等のため、更に事業推進する必要がある。	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 補助制度の周知や農業委員と連携し事業推進を図る。	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-4 身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出				
分野別方針	産業・経済		実施計画事業	「農」のある暮らし推進事業(No.62)				
予算等事業名	ふれあい農園事業							
目的	農地の荒廃地化防止や里山保全を推進するため、町民の余暇利用やボランティア活動などを通じて、ふれあい農園事業や里山再生育成事業を展開する。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> 貸出の実施 地権者主導型農園の検討 							
根拠法令・条例等	特定農地貸付法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか									
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施		
②、③に対する理由									

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか									
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難					
理由		農地の借地料が多くを占めているため削減は困難である							

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか									
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難					
理由		既に改善してきているため困難である(キャンセル待ちは年度切り替え時に解消、空き区画も無い)							

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)								A
	【説明】 利用を希望する町民が多いため引き続き事業を推進する。								

総合評価

実績	全区画の貸し出しや利用者への栽培講習会を実施した。							
中間評価との相違点	—							
事業指標(数値指標)	農園利用者							
中期(29年度)目標値	全区画の利用				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度		全ての区画が利用されることを目標とした			
	全区画利用	全区画利用						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		232	207	226	221		
財源内訳	一般財源	0	0	0	0		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	232	207	226	221		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町民の余暇利用の充実や耕作放棄地対策のため妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町民の余暇利用の充実や耕作放棄地対策のため必要である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 全区画利用されているため成果が上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 利用料により経費を賄っている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 農園利用の希望者が多いため引き続き事業推進する。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-4 身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出				
分野別方針	産業・経済		実施計画事業	「農」のある暮らし推進事業(No.62)				
予算等事業名	里山再生育成事業							
目的	農地の荒廃地化防止や里山保全を推進するため、町民の余暇利用やボランティア活動などを通じて、ふれあい農園事業や里山再生育成事業を展開する。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・里山体験の実施 ・里山再生育成団体の支援育成 							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		必要最小限の経費であるため削減は困難である			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		活動団体等は、自主性を持って活動に取り組んでいる			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 里山づくり推進協議会と連携し、里山保全を推進する。				

総合評価

実績	田植え稲刈り等の里山体験や関係団体の支援等を行った。				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	里山体験者数				
中期(29年度)目標値	220人			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	近年の実績を目標値とした	
	220人	146人			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		253	245	330	320		
財源内訳	一般財源	223	215	300	287		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	30	30	30	33		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 里山保全の推進のため妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 自主性を持って取り組んでいる関係団体と連携し事業推進を図る。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 里山体験や団体による自主的な活動を行っているため一定の成果が上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 最小限の費用により事業推進している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 引き続き活動団体等と連携し事業推進を図る。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-4 身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出				
分野別方針	産業・経済		実施計画事業	水産振興事業(No.63)				
予算等事業名	水産振興事業(漁業再生事業)							
目的	二宮町の水産業の振興を図る。							
内容	・漁協及び水産関係団体の支援育成等							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		各団体の負担金は、定められた金額であるため削減は困難である			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		各団体への負担金が主になっているため効率化は困難である			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			A
	【説明】 各関係機関と連携し、引き続き事業を推進する。			

総合評価

実績	関係団体の支援を行い、水産振興を図った。				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	漁業従事者数				
中期(29年度)目標値	22人(正組合員数)			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	高齢化にともなう漁業者の減少および、後継者不足は深刻であるため、前年維持を目標とした	
	22人	20人			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		368	368	338	268		
財源内訳	一般財源	368	368	338	268		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 水産振興のため必要な支援を行っている。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 水産振興のため必要である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 関係機関等と連携して取り組んでいるため一定の成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 最小限の経費で運用している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 引き続き関係機関等と連携し事業推進を図る。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課			
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-4 身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出		
分野別方針	産業・経済		実施計画事業	漁港整備事業(No.64)		
予算等事業名	漁港整備事業					
目的	二宮町の水産業の振興を図る。					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・漁港維持管理 ・養浜 					
根拠法令・条例等	漁港漁場整備法、海岸法、二宮町漁港管理条例					
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか							
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難			
理由		現況に即した経費であり、今後は環境美化にも力を入れるため削減は困難である					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難			
理由		漁業協同組合と連携して取り組むことにより、効率化が図れるか検討する					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)					B
	【説明】 漁業者等との連携や他事例等の調査等を行い事業の推進を図る。					

総合評価

実績	漁港区域内の養浜工事や維持管理、修繕等を実施した。				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	漁業従事者数				
中期(29年度)目標値	22人(正組合員数)			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	高齢化にともなう漁業者の減少および、後継者不足は深刻であるため、前年維持を目標とした	
	22人	20人			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		3,031	2,336	3,109	2,328		
財源内訳	一般財源	2,973	2,278	2,225	1,459		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	58	58	884	869		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町が漁港管理者のため妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町が漁港管理者のため必要である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 継続的に事業推進をしているため一定の成果は上がっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 必要最小限の経費で運用している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 更に有効な事業となるよう他事例の調査等を行い事業推進する必要がある。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 有効な事業推進や環境美化を考慮した事業推進の必要があるため。	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 継続的な工事等に加え、環境美化を考慮した事業推進を行う。	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課	
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-4 身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出	
分野別方針	産業・経済	実施計画事業	特産物普及奨励事業(No.65)	
予算等事業名	特産物普及奨励事業(農業再生事業)			
目的	二宮の特産物の普及を図る。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オリーブ及び落花生の普及奨励 ・オリーブ栽培の試験研究 ・二宮ブランド事業との連携 ・落花生の栽培普及と加工品店の販売奨励 			
根拠法令・条例等	二宮町特産物普及奨励補助金交付要綱			
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	普及、奨励等の補助が主な経費のため削減は困難である				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	今後も普及、奨励する必要があるため効率化は困難である				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 今後、更に普及させるため生産者や関係機関等と連携、協力し、栽培や販売、地域ブランドの確立を図る。	

総合評価

実績	落花生及びオリーブの普及奨励補助やオリーブ圃場の育成状況調査を実施した。				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	落花生の町内加工店への出荷量、オリーブの栽培本数				
中期(29年度)目標値	落花生 291kg	オリーブ 2,600本	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	落花生: 過去平均値 オリーブ: 29年度の栽培普及本数(計画値)	
	落花生190kg オリーブ1,474本	落花生257kg オリーブ1,604本			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,189	631	671	662		
財源内訳	一般財源	1,189	631	671	662		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 特産物の普及・奨励を行い、地域ブランドの確立を図るため妥当である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 特産物の普及・奨励を行い、地域ブランドの確立を図るため必要である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 オリーブ商品が二宮ブランドに認定される等、一定の成果は上がってきている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 普及・奨励のため必要な経費である。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 更に普及させるため生産者や関係機関等と連携、協力し地域ブランドの確立を図る。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 更に普及させるため生産者や関係機関等と連携、協力し地域ブランドの確立を図る。	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 近隣市町や関係者等と連携し、地域ブランドの確立を図る。	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課	
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-3 地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり
分野別方針	産業・経済		実施計画事業	商工業振興対策事業(No.66)
予算等事業名	商工業振興対策経費			
目的	町内中小企業の健全な育成振興を目的とし、町商工会を始め、各商店の機能が十分発揮されるよう組織の育成・強化を図る。また、情報の提供などを通して、商業者や町民などによる起業を支援する。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> 各商工業振興団体の支援育成 にぎわいイベント支援・見直し 二宮ブランド事業推進の支援(イベントPR・特産品開発奨励) 			
根拠法令・条例等	二宮町商店街街路灯維持管理補助金要綱			
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	事業内容、運営方法等を見直すことにより、検討はできる。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	事業内容、運営方法等を見直すことにより、事業の効率化を見込める。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			B
	【説明】 有効性・効率性等の改善を図りながら、継続的に事業を実施していく。			

総合評価

実績	町商工会、商店連合協同組合(商連)への補助			
中間評価との相違点	-			
事業指標(数値指標)	商工会会員数+商連加盟店舗数			
中期(29年度)目標値	633(商工会535 商連98)		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	633	631	会員数の現状維持	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		13,050	12,406	12,044	11,593		
財源内訳	一般財源	12,800	12,193	12,044	11,593		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	250	213				

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 商工会・商連ともに、商工業者の集積や異業種交流など、会員相互のレベルアップとスケールメリットを生かした共同活動を目的としており、町の目指す商工業振興と地域活性化には欠かせない団体であるため。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	B
	【説明】 事業の実施主体は、商工会や商連だが、当該団体の育成や、一次産業、観光事業等との連携を考えると、町が実施や補助等すべきである。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 近年では、町外かつ若年者の新規創業や開業など、町内の中小企業の大半を占める個人店舗の減少に一定の歯止めがかかっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B
	【説明】 商工会・商連の育成強化を引き続き進め、会員増及び維持につながるよう、よりメリットのある事業を追求する必要がある。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 有効性・効率性等の改善を引き続き図りながら、継続的に事業を実施していく。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	町内の中小企業振興は、町経済の活性化や、買物弱者救済、商店街形成による地域コミュニティの造成など、様々な側面での効果が大いにあるため。	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
商工会、商連に国・県補助金の効果的な活用やイベント見直しを促すとともに、会員に対して、よりメリットのある事業を実施するよう働きかける。		

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-3 地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり
分野別方針	産業・経済	実施計画事業	商工業振興対策事業(No.66)
予算等事業名	起業家支援		
目的	町内中小企業の健全な育成振興を目的とし、町商工会を始め、各商店の機能が十分発揮されるよう組織の育成・強化を図る。また、情報の提供などを通して、商業者や町民などによる起業を支援する。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・創業塾の開催(商工会) ・創業塾受講者のフォローアップ(商工会) ・町民への情報提供 ・創業支援事業計画策定の検討・実施 		
根拠法令・条例等	産業競争力強化法		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他		

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか	
<input type="checkbox"/>	① 検討できる
<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	町内中小企業の振興を図るために必要な経費である。

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか	
<input type="checkbox"/>	① 検討できる
<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	現在、起業化支援に係る創業支援事業計画を策定しているが、計画期間が平成30年1月1日から開始となることから、その動向等を注視する必要があるため

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 創業支援事業計画については、年内の国による認定に向けて、現在計画を策定している。	

総合評価

実績	創業支援事業計画認定、事業運用に係る創業者数		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)	創業塾受講者数		
中期(29年度)目標値	22	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成28年度 22	平成29年度 15	平成30年度 実績値より

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		0	0	0	0		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	—
	【説明】 創業支援事業計画策定及び国による認定に伴い、事業を実施していくが、現状においては公費をかけずに事業を実施していくため、公費を投入するかは妥当か否かは不明である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 創業支援事業計画の実施主体は町であるため、町が主導となって行うべきである。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 創業支援事業計画が国に認定されて間もないが、町商工会や町内金融機関と連携して事業を実施し、積極的にPRを図ることから、町内創業への機運は高まっていくものと見込まれる。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 現状においては、費用をかけずに事業を進めているので適切といえる。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 町内の起業家支援の一端を成す創業支援事業計画は認定されたが、確固とした内容とするため、町内関係機関との情報交換や情報共有、他自治体の状況を把握する必要がある。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 計画自体を確固たるものとするためには、計画に関する情報収集や付随する制度の創設などを検討、実施する必要があるため。	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 町内関係機関との連携を密にするため、定期的な打ち合わせ会を開催し、情報交換、情報共有を行い、また、計画に付随する支援策の創設、検討のために近隣自治体の制度等の情報収集を行っていく。	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-3 地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり
分野別方針	産業・経済	実施計画事業	中小企業支援事業(No.67)
予算等事業名	中小企業金融対策事業		
目的	中小企業の健全な育成を図るため、指定金融機関に資金を預託し、融資制度を設け、併せて資金の利用者に対し、信用保証料及び利子の補助をする。		
内容	・制度融資の継続及び利用者への支援		
根拠法令・条例等	二宮町中小企業信用保証料補助要綱 二宮町中小企業金融対策資金利子補助要綱 二宮町中小企業金融対策資金預託要綱		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他		

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	中小企業金融対策資金預託金や信用保証料補助のため、削減は困難である。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	利率や融資額設定の改善や金融機関と連携した制度の周知により、積極的な活用が図られているため困難である。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 町融資制度や利子補助等は、中小企業の健全な発展・運営を図るための事業であるため、継続的に事業を実施する必要がある。	

総合評価

実績	中小企業信用保証料補助 中小企業貸付金利子補助 中小企業金融対策資金預託金(町内信金・融資限度額2億円)		
中間評価との相違点	-		
事業指標(数値指標)	融資残高		
中期(29年度)目標値	1億4,000万円		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	1億3,352万円	1億3,678万円	-
	融資限度額の70%		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		12,722	11,844	12,523	12,209		
財源内訳	一般財源	2,722	1,844	2,523	2,209		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	10,000	10,000	10,000	10,000		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町融資制度や利子補助等は、中小企業の健全な発展・運営を図るための根幹的な事業である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町融資制度や利子補助等は、中小企業の健全な発展・運営を図るための根幹的な事業である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 利率や融資額の設定の改善等、金融機関と連携した制度周知により、積極的な活用が図られている	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 事業経費の大半は預託金であり、また、他の経費も町内経済の活性化に資している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 運営状況は概ね良好といえる。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課	
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-3 地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり	
分野別方針	産業・経済	実施計画事業	中小企業支援事業(No.67)	
予算等事業名	男性の育児休業取得促進事業			
目的	中小企業の健全な育成を図るため、指定金融機関に資金を預託し、融資制度を設け、併せて資金の利用者に対し、信用保証料及び利子の補助をする。			
内容	・実施			
根拠法令・条例等				
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	県や関係機関等からの配架物を活用した周知・啓発を図るなどして事業を進めているため。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	県や関係機関等からの配布物を活用しているため。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 県や関係機関等と連携しながら、引き続き男性の育児休業取得促進について啓発・周知を図っていく。	

総合評価

実績	男性の育児休業取得促進事業の周知・啓発の徹底		
中間評価との相違点	-		
事業指標(数値指標)	男性の育児休業取得促進事業の周知・啓発の徹底		
中期(29年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	-	-	
	継続して周知・啓発を図ることが優先であるため、数値目標化はしない。		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		0	0	0	0		
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	—
	【説明】 県や関係機関等からの配布物を活用している。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 県や関係機関等からの配布物を町だけではなく、商工会や商連等町内関係団体を通じて加入事業所等に配布することで周知・啓発が図れるため。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 県や関係機関等からの配布物等により事業所に周知が図られているため。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 費用をかけずに周知が図られているため。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 県や関係機関等と連携しながら、引き続き男性の育児休業取得促進について周知徹底を図っていく。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり	重点的方針	2-3 地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり		
分野別方針	産業・経済	実施計画事業	勤労者福祉対策事業(No.68)		
予算等事業名	勤労者福祉対策事業				
目的	町内在住の勤労者に対する福祉の増進と生活の安定向上を目的とし、勤労者生活資金融資預託等を推進する。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労者住宅資金利子補給 ・勤労者生活資金融資 ・労働団体及び労働衛生相談への支援 				
根拠法令・条例等					
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	労働団体の活動補助や労働衛生相談等については、一定の効果はあるが、勤労者への生活資金融資の貸付額は減少しており、根本的な削減等の見直しが必要である。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	事業自体においては、勤労者の福祉の増進と生活の安定向上が図られていることから、効率化は困難である。		

中間評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)</p>	B
	<p>【説明】 町内勤労者の福祉の増進と生活の安定向上を目的としており、定住促進にもつながる事業であることから、継続して事業を実施していくが、一部の事業においては根本的な見直しが必要である。</p>	

総合評価

実績	勤労者住宅資金利子補助 勤労者生活資金融資預託金 労働団体等への補助				
中間評価との相違点	-				
事業指標(数値指標)	対象勤労者数(融資利用者+利子補給対象者+労働衛生相談医利用者数)				
中期(29年度)目標値	62人			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	実績値より	
	62人	80人			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		21,569	21,031	21,283	20,919		
財源内訳	一般財源	1,569	1,031	1,283	632		
	国庫支出金				287		
	県支出金						
	その他	20,000	20,000	20,000	20,000		

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 生活資金融資制度や利子補助等は、勤労者の福祉の増進及び健全な生活の安定を図るための根幹的な事業であるため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 生活資金融資制度や利子補助等は、勤労者の福祉の増進及び健全な生活の安定を図るための根幹的な事業であるため。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 勤労者への生活資金融資の貸付額は減少しており、さらなる周知が必要といえるが、労働団体の活動補助や労働衛生相談などを総合的に考えれば、勤労者の福祉に寄与している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 事務経費の大半は預託金や補助金であり、町からの持ち出しは少額であるため。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 町内勤労者の福祉の増進と生活の安定向上を図るため、継続して事業を実施していく。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 勤労者の福祉の増進と生活の安定向上を図るため、引き続き事業を継続していくが、補助件数の減少等を踏まえると、原因の検証や見直し等による一部改善が必要となるため。	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 原因の検証や近隣自治体の状況等を踏まえ、制度運営等について検討する。	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-3 地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり				
分野別方針	産業・経済		実施計画事業	勤労者福祉対策事業(No.68)				
予算等事業名	中小企業退職金共済制度補助事業							
目的	町内在住の勤労者に対する福祉の増進と生活の安定向上を目的とし、勤労者生活資金融資預託等を推進する。							
内容	・中小企業退職金共済制度加入の奨励支援							
根拠法令・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	平成25年及び27年に補助率、補助期間の改正を実施したため。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	町内の中小企業が雇用する従業員の福祉の向上と雇用の安定化を図る必要があるため。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	【説明】 町内の中小企業が雇用する従業員の福祉向上と雇用安定化を図るうえで引き続き事業を継続していく。		

総合評価

実績	中小企業退職金共済制度補助		
中間評価との相違点	-		
事業指標(数値指標)	中退共加入者数		
中期(29年度)目標値	111人		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	111人	76	
			実績値より

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		956	492	683	471		
財源内訳	一般財源	956	492	683	471		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町内の中小企業が雇用する従業員の福祉の向上と雇用の安定化を図ることを目的としているため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町内の中小企業が雇用する従業員の福祉の向上と雇用の安定化を図ることを目的としているため。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 中退共制度への加入につながっている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 平成25年1月の制度改正以降、適正な補助率となっている。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 町内の中小企業が雇用する従業員の福祉の向上と雇用の安定化をつなげるため、継続的に事業を実施する。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2-1 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり				
分野別方針	産業・経済		実施計画事業	観光まちづくり推進事業(No.69)				
予算等事業名	観光振興対策事業							
目的	町の観光振興を目的とし、観光客の来訪促進を図る。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会の育成支援 ・観光協会組織・運営の検討と変更 ・観光パンフレット印刷 							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input checked="" type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	自主財源確保やイベント事業、法人化などについては、理事会等での議論を経たうえで、慎重に方向性を定めていく必要がある。				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	事業内容、運営方法等を見直すことにより、経費削減等は見込める。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	事業内容、運営方法等を見直すことにより、事業の効率化を見込める。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性、有効性、効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				B
	【説明】 観光協会の組織体制や運営方法や支援など、目指すべき方向性について、理事会等で議論や検討をしていく。				

総合評価

実績	観光協会への補助及び育成 観光事業の開催(観光フォトコンテスト、ふるさとまつり、菜の花ウォッチング等) 観光パンフレットの印刷				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	観光客数				
中期(29年度)目標値	56万人			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	直近5年間で最大の観光客数(平成28年1~12月) 実績値は年単位(1~12月)で計上	
	56万人	57万人			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		9,080	8,993	9,006	8,811		
財源内訳	一般財源	9,080	8,993	8,978	8,784		
	国庫支出金						
	県支出金			28	27		
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 観光誘客による町経済の活性化やHPやSNS等による町の魅力を発信するなど、観光事業への公費の投入は妥当といえる。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 事業主体となるべき観光協会の育成と、町内産業やブランド事業等との連携を考慮すると、町が実施すべき事業である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 テレビや新聞だけでなく、SNS等でもとりあげられるなど、町の知名度は向上している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 観光協会の自主財源率の向上と効果の高い事業への選択と集中が必要である。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 観光協会の育成や自主財源の確保、今後の方向性等を検討しながら、事業の選択と集中を図るとともに新しい手法等を取り入れながら、今後も事業を推進していく。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 今後の観光振興に対しては、他団体や庁内他部署との連携を図るなど事業改善や新たな発想を取り入れる必要があるため。	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 観光協会の組織や自主財源確保の推進といった組織の在り方だけでなく、事業やイベント等においては、他団体や庁内他部署等との連携の検討をしていく。	

基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	都市部 産業振興課					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり				
分野別方針	自治体経営		実施計画事業	公有財産管理運営事業(No. 89)				
予算等事業名	観光施設維持管理事業							
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。							
内容	・観光トイレ管理・運営							
根拠法令・条例等	-							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	繁忙期・閑散期など、管理にメリハリを付け、管理費用の圧縮を図っているため。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	繁忙期・閑散期など、管理にメリハリを付けているため。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)					A
	【説明】 観光客をはじめ、町民の利便を図る施設であるため、継続的に管理していく。					

総合評価

実績	観光トイレ2箇所の維持管理				
中間評価との相違点	-				
事業指標(数値指標)	経費の減少				
中期(29年度)目標値	1,131千円			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	経費の減少(目標値は29年度予算額)	
	1,011千円	1,059千円			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,091	1,011	1,476	1,403		
財源内訳	一般財源	1,091	1,011	1,476	1,403		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 観光客だけでなく、町民の利便を図る施設であるため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 一部業務については、外部委託をしているが、観光客や町民の利便を図るうえで、町が行った方がよい。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 多くの利用者が、快適に利用できているため。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 繁忙期・閑散期など、管理にメリハリを付け、管理費用の圧縮を図っているため。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 観光客だけでなく、町民の利便を図る施設であるため、継続的に管理していく。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	